

幸報ふじ

発行：佐賀市富士支所
編集：幸報ふじ事務局
(一般財団法人スマイルアース)
TEL：0952-57-2341
FAX：0952-57-2217
hoonoki@smile-a.org
住所：富士町藤瀬724-4

緊急取材！初代天皇(神武天皇)は富士町のお生まれか？

今回、下無津呂の乳母(めのと)神社で大発見があったというので、急遽、取材に行ってきました。お話を伺ったのは、二年前に福岡から郷里の下無津呂に戻ってこられた産婦人科医の久保田史郎さん。



久保田史郎さん(下無津呂地区)

北山に戻ってまず驚いたこと、それは、子どもの姿が見られないことでした。久保田さんが北山小学校に通っていた昭和二十八年には、小中学生合わせて八百人ほどいたのが、今では五十人。そこで久保田さんは、長年の産科開業医としての経験を活かして、郷里の少子高齢化に

歯止めをかけ、地元を活性化させるお手伝いができないか模索したそうです。

そこで着目したのが、初代天皇である神武天皇の母親、玉依姫命(たまよりひめのみこと)を祭神とする『乳母神社』と玉依姫命の姉、豊玉姫(とよたまひめのみこと)を祭神とする『淀姫神社』です。この二つの神社が同じ無津呂地区にある。



淀姫神社

久保田さんは

「もしかしたら神武天皇は北山のお生まれではないか」と考え、神武天皇の子どものある綾靖天皇(すいせいてんのう)を探したところ、綾靖天皇の母親であり神武天皇の妻であ

る奈留多姫命(なるたひめのみこと)を祀った『産宮神社』が、北山からわずか二十キロほどの糸島市波多江にあることがわかりました。

調べていくにつれて、神武天皇は北山のお生まれである可能性が高くなってきました。今年八月三十日に、『乳母神社』の神殿に天皇家の十六菊花紋章が見つかりました。そして、私が取材に伺った日の前日である十月六日には、下無津呂の『乳母神社』で玉依姫命(神武天皇の母)の銅鏡が見つかったのです。



銅鏡

神社総代のお一人で、久保田先生と一緒に銅鏡を見つけた嘉村眞一さんは言います。

「久保田先生が『開けてみる』と言うから祭壇を開けたけど、それまでは怖くてそんなところ

晴好雨奇 富士俳句同好会(四)
来し方を艶歌に想ふ秋のよる
せつこ

照紅葉くぐれば宿の湯の煙
雅子



乳母神社

「見つけたときは、『わおー』って鳥肌が立ったね」と久保田さん。

久保田さんと『乳母神社』のご縁は、久保田さんが『乳母神社』の氏子であるということにとどまりません。久保田さんは、産科医院開業(一九八三年)以来、母乳が充分に出るようになるまでは母乳分泌の不足分を人工ミルクで補足してきました。それにより、脳に障害を残す低血糖症と重症黄疸の赤ちゃんが出なくなりました。そのことから、久保田先生は、日本の伝統的な『乳母』というのは赤ちゃんを飢餓から守るのが目的だったのだと考えました。『乳母神社』に祀られる玉依姫命は、神武天皇の父であるウガヤフキアエスの乳母として派遣され、後に彼の妻となって神武天皇の他三人の男児を産みました。です

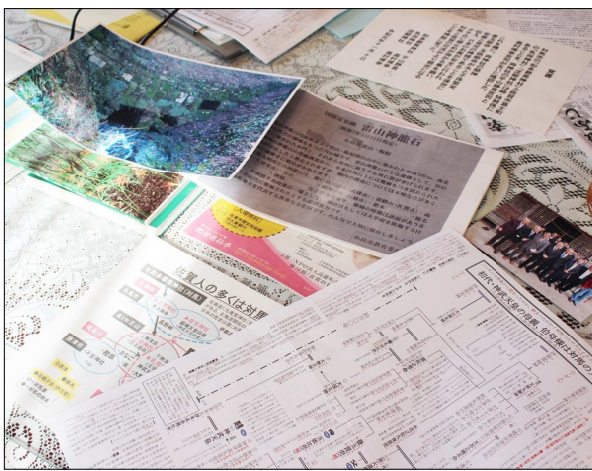
から、玉依姫命は記録に残る日本最初の乳母です。今のようにならなくなった時代には、母乳の出の悪さは乳児の生育に直接悪影響を及ぼし、命にも関わったため、皇族、貴族、武家や豊かな家の場合、母親に代わって乳を与える乳母を召し使いました。この玉依姫命と久保田さんの取り組みとの偶然の一致、不思議ですね。



ご自宅

私が取材にお邪魔した久保田さんのお宅は、富士町ではあまり見ることのないかわいらしいレンガ造りの洋館で、お宅が見えてきたときにはびっくりしてしまいました。とっても素敵なお宅です。お祖父さまがこの地(下無津呂堂園)で内科医を、お父様の環境は戦前、長崎の島で産婦人科を開業され、なんと、その地はシーボルトのドイツ領事館跡地だったそうです！戦後は唐津に移られました。久保田さんご自身は福岡で開業され、ご高齢のため、三十四年間続けた医院を閉じ、郷里の下無津呂に一昨年帰ってきました。故郷でゆっくりするつもりが、

今回の大発見で、神社を巡った資料を作ったり忙しい日々になってしまったそうです。「明後日からは対馬の『和多都美神社』に行くから、荷造りもしないといけない」
対馬は玉依姫命と豊玉姫命の生誕地とされています。



久保田さんは、『乳母神社』と『淀姫神社』が神武天皇の母親と伯母さまを祀っており、栗並にある『子安神社』が豊玉姫命のご主人の祖父を祀った神社であること、また須田の御殿には対馬由来の『厳島神社』があることを知り、富士町を古代ロマンの里として観光スポットにすることが地元の活性化につながると考えています。すでに、『安産大学』として安産と育児の研修ツアーを企画中だそうです。

それにしても、初代の天皇が本当に富士町でお生まれだとして、すごいですね。この大発見を機に、富士町が注目されるようになるといいですね！
(記事 恵良五月)

